



# 戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

Tel 881-0049・6461

Eメールアドレス [y3totuka@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3totuka@edu.city.yokohama.jp)

FAX 881-9804

## 心を結ぶ言葉

校長 大谷 珠美

今年もあと一か月。コロナが5類に移行して、学校や地域の行事やイベントが以前のように多くの方を招いてできるようになってきました。学校では6月の150周年記念式典や運動会、校外学習、宿泊体験学習など、多少の制限はありましたが予定通り行うことができました。

そして、地域に出掛けて学習することが増えた子どもたちは多くの方々と接し、様々な体験をすることができました。商店街では温かく児童を迎えてくださり丁寧に話をしてくださいました。5年生が戸塚区役所との連携で行っている区役所屋上の米作りでは、区役所の方々だけでなく、JAの方や、農家の方々の力を借りて、体育館に機械を持ちこみ、脱穀の体験もしました。さらに、3年生が毎年行っている「花の小道」では、その活動が横浜市に認められて先日市長から感謝状が贈られました。一つ一つの活動は児童が主体となって行っているものですが、ずっと続いてきているので、来年度も次の学年が受け継いでいくと思います。皆さんの支えがあって子どもたちの活動が豊かになっていくのだと感じています。ありがとうございます。

さて、このような活動をするとき、子どもたちは元気よく挨拶をすることができています。朝、登校の見守りをしてくださっている保護者の方々にも、挨拶をする姿は見られているでしょうか。明るく元気のよい挨拶は、傍から見ても気持ちの良いものです。でも、挨拶をしたのに相手から挨拶がないとがっかりしたり、寂しさを覚えたりもします。私たちは日々、様々な形で周囲の人たちとの間で交わされる言葉の影響を受けています。とりわけ相手に対する温かい思いが込められた言葉は、受け取る側の心を温め、和ませてくれるだけでなく、お互いをめぐる人間関係を心豊かなものにしていくことでしょ。

例えば、「ありがとう」という言葉をかけられたときにうれしく思うのは、「あなたがしてくれたことに感謝しています」という相手の心を感じ取るからうれしく思いますし、こちらのことを気遣う言葉をかけられた場合も同様でしょう。そこには、思いやりを感じるからこそ、喜びを感じ、心が温まるのであり、その言葉はお互いの心の絆を強めていく力をもつと思います。

誰もが、冷たく寂しい言葉よりは温かく思いやりのある言葉を求めています。相手にしっかりと心に向けて、安心や喜びをもたらすような「心を結ぶ言葉」を自分から積極的に発信していくことができるとよいと思っています。

12月4日から12月10日は人権週間です。本校でも11月27日から12月16日を校内の人権週間としています。言葉は受け取る側がどんな思いで受け取るか、発した自分はどんな思いで伝えているか、時としてその思いがすれ違ってしまうこともあります。相手に分かるようにお互いに話すことで、相手を尊重し理解し合えるようになると思っています。また、お互いの気持ちを十分に理解し合うにはやはり、きちんと言葉に表す必要があります。ちょっとした挨拶や気持ちを素直に表す言葉を大切にして過ごしていきたいものです。年末年始には、家族や親せきなどで集まることも増えると思いますが、親しい方々にも気持ちの良い挨拶を心がけて今年を振り返り、新しい年を迎えられるといいと思います。